

茨木 SC 研究会 日記

第 2013年1月開催 話 ケースの裏側で動く組織 の巻

前回に引き続き、1回限りで中断・終結となったケースを検討した。  
依頼は誰から発生したものか、そしてなぜ発生したのか…。その部分を掘り下げていくと、組織の中で担わされている役割への反発やそこに漂っている空気から生み出されたものもあるのでは。それを掘り下げていく作業の中で、それぞれの参加メンバーが属する組織に般化させていくと、新たな発見もみつかったり。

組織は、トラブルが起こってからでなければ動かない性質もある。トラブルに対応することもさることながら、それ以前から問題を発見し介入できる環境を作っておくことも臨床心理士に求められる力なのかもしれない…。

記 録 : はんなり (臨床心理士)

日 時 : 2013年1月14日(月) 12:30 - 15:00

場 所 : 茨木市男女共生センター ローズ WAM

参 加 者 : 7名 (大阪SC、兵庫SC)

本日の話題

1. 前回のおさらい(1回で中断・終結となったケース)
2. 2ケースの検討
3. \_\_\_\_\_